

言葉 テーマにフォーラム

「小象の会」10周年を記念

市民と医療者が連携して生活習慣病予防に向けて取り組むNPO法人「小象の会」（篠宮正樹理事長）は14日、中央区中央の市文化センターで、言葉をテーマに設立10周年記念フォーラムを開き、元NHKアナウンサーの加賀美幸子さんらが講演を行った。加賀美さんは「言葉はその人そのもの。見えない所に潜む力が相手を動かす」と語った。

小象の会は生活習慣病の予防を目指し、出前講演や街頭キャンペーン、啓発童話の出版などを実施。篠宮理事長はあいさつで「知ることが予防のワクチン。より多くの人に予防の大事さを知ってもらう必要がある」と、活動のさらなる活発化へ決意を述べた。

加賀美さんは国内外の古典を引用しながら「言葉の力」について講演。「政治も外交も恋愛も相手の心を動か



言葉の力について講演する元NHKアナウンサーの加賀美さん＝14日、中央区の市文化センター

さない」と成就しない。間の取り方や息遣い、言葉の厚みなどに人は心動かされる」と説明した。

千葉大の横手幸太郎教授も講演。コレステロールの役割などを解説した上で、「生活習慣病の予防は転ばぬ先のつえ」と将来を見据えた健康管理の重要性を訴えた。続いて、横手教授を進行役に、加賀美さんらが加わって「市民と医療者をつなぐ言葉」と題した討論会を行った。

加賀美さん講演、討論会も



「市民と医療者をつなぐ言葉」をテーマに、討論会も行われた